事務事業評価表(令和 2年度)

事業コード	1438		詞	課コード	160	4	会計種		- /文 / 			予算 <i>σ</i>	D種類		■経常 [ロなし
			101						20.25.81			7,711	1270			_ 0: 0
1. 事業の概要(PLAN)		基本事業														
	①事業名		企画展の実施	施				³	実施計画への 位置づけ	○有 ●無		②部課名		生涯学習部・鳥の博物館		
	③事業主体	●市	○その他		2年度 ~				対象地区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要	⑤事業期間 ⑦事業費	60 ± 40 ±		节和 2					担当職員数			3,286 千円			870 千円)	
	(人件費含む)	総事業費			0 千円			当	4該(開始)年度	(変更後)		千円	千円 (うち人件費 千		千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード		51103	重点プロジェクト への位置づけ 重点なし				本計画地区別 画への位置づけ	O有		部門別計画への 位置づけ (計画名) 社会教育推進計			国	
(2)目的	施策目的・		学習する場の充実を図るため、公民館や図書館、鳥の博物館、白樺文学館などの施設の充実や、当施設の整備を計画的に進めるとともに、学校施設など既存施設の有効活用を推進し、身近な場所で						事業目的	鳥を中心として、地域の自然と生き物について興味を持ち、理解を深め、愛着を感じること 企画展を実施する。					ができるような	
(2) 日野	展開方向	きるようにし	します。また	た、湖北地区図書	子校施設など既存施設の 書館の整備については、海 Wのることができるように	ン、老朽化への対応が	(急が	争未日的	上回版で未加する。 年間を通して3回の企画展を開催する。							
		即したテーマ	マを選び、年	年3回程度企画展	Rめることがてさるように 長を実施する。合わせて博 うに、コーディネートする	物館ボランティフ			当該年度	年前を通して3回の企画展を開催する。 我孫子市市政50周年・鳥の博物館開館30周年記念事業として、企画展「30周年特別展示を開催する。日本の鳥385種の標本を展示し、地域の環境、季節によっても異なる日本の鳥介する。						
(3)事業内容	内容	337903(47)83	X IZZ C O C	211111122 001)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				執行計画						18 12 C 14	
									ルサケ中	来館者数				想定值	想定値 37,000	
								ä	当該年度 活動結果指標					単位 人 実績値		
(4)達成目標(期待する成果)					『(期待する成果) 生のある企画展を実施し、鳥や様々な生物を通して環境を考える機会			ム地合	指標種類	指 標 来館者数			単位 (5) 現況値			(6)目標値
当該年度	を提供する。				生のある企画展を実施し、鳥や様々な生物を通して環境を考える機会				直接	来館者数			人 32,580			37, 000
令和 3年度	を提供する。 子どもから大人まで幅広い年齢層の市民に、話題性、速報				toのある企画展を実施し、鳥や様々な生物をとおして環境を考える機				直接	来館者数				<u>ا</u> ا		39, 000
令和 4年度	会を提供する。								直接					٨		40, 000
(7)事業実施上の課題と対応								代替案検討		O有	●無					
	ть:	平成31年	度	T	Th.	令和 2年					3年度	I	Th:		4年度	
	策	内容		金額(千円)	政 策 (経常)	容	予算額(千円)	夬算額(千F	円) 版 策 (経常	内 容		金額(千円)	策(経常)	内 容		金額(千円)
	嘱託職員報酬 嘱託職員社会	保険料		1, 400 273	会計年度任用職員(1, 400 150		会計年	, 度任用職員(学芸』 度任用職員(学芸』		1, 40 15	00 会計年度任	・ 田職員(学芸! 田職員(学芸!		1, 400 150
	嘱託職員雇用 嘱託職員費用	呆険料		21 55	会計年度任用職員(学芸員)社会保険			会計年	度任用職員(学芸)	E用職員(学芸員)社会保険料 E用職員(学芸員)費用弁償		33 会計年度任		員)社会保険料	133 83 23 350
	市民スタッフ	報償費		84 340	市民スタッフ報償費 23 消耗品 350			消耗				35			報償費	
実施内容 実施内容 (8)施行事項 ## 田	企画展委託料 印刷製本費			100 197			177 100		印刷製企画展	製本費 展委託料		17 10				177 100
費 用																
予算(決算) 国庫支出会		合 計	0 %	2, 470 0		計 0 %	2, 416		補助率	合 計	0 %	2, 41	0 補助率	合 計	0 %	2, 416 0
(9) 財源内訳 県支出金 起債	補助率 充当率		0 %	0	補助率 充当率	0 % 0 %	0		補助率 充当率		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	0
一般財源その他の財		益 口基金 口そ	その他	2, 470	口特会 口受益 口	基金 □その他	2, 416		□特	会 口受益 口基金	口その他		0 □特会 □	□受益 □基金	口その他	2, 416
換算人数(<i>J</i> 正職員人件 嘱託職員報	費			0. 2 1, 760 1, 672			0. 1 870					0. 1, 74				0. 2 1, 740 0
場	額			0 4, 230			0 0 3, 286						0			0 4, 156
(11)単位費用 (事業費/活動結果指標)	ili sez	0.11千円/		1, 200			0, 200		_			1, 10	,,,			1, 100
					0	. 09千円/人										
2. 事業の評価(D0+C)	IECK)				0	.09千円/人										
2. 事業の評価(D0+C) 評価項目					「評価						面(評価結果に	応じ、改善案	を検討(拡充も含む	3))		改善検討
評価項目	博物館が持ってい	」という三つ <i>の</i>	最大限に活月 のテーマに浴	用し、市民に情報		「鳥の科学」、「1			前確認での想定		西(評価結果に	応じ、改善案	後討(拡充も含む	>>))		
	博物館が持ってい と鳥とのかかわり 出由・ んでもらえるよう	」という三つ <i>の</i>	最大限に活月 のテーマに浴	用し、市民に情報	 評 価 提供する必要がある。	「鳥の科学」、「1		0②事前	前確認での想定	どおり		応じ、改善案	接検討(拡充も含む	3))		改善検討 〇要 〇不要
評価項目 (1)事業が今必要である5	博物館が持ってい と鳥とのかかわり んでもらえるよう	」という三つの な博物館を目指	最大限に活用のテーマに沿 かテーマに沿 指す。	用し、市民に情報 沿って魅力ある企	「評価 収提供する必要がある。」 と画展を実施することで、	「鳥の科学」、「1		○②事i <想定ど	前確認での想定	どおり どおりでなかった 由/想定どおりでな	かった原因>				>	O要
評価項目 (1)事業が今必要であるも 背景は?(事業の必要	博物館が持ってい と鳥とのかかわり んでもらえるよう 性) 〇①民間企業、 (理由) □法令等	」という三つの な博物館を目指 NPO、市民団	最大限に活用 のテーマに 指す。 体等では実 ることが定め	用し、市民に情報 沿って魅力ある企	 評 価 提供する必要がある。	「鳥の科学」、「1		○②事前 <想定ど □①民間 □②市が	前確認での想定 ごおりとした理E 間企業、NPO が主導で進めな	どおり どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では ければ実効性がなか	かった原因> 実施できなかっ かった		検討(拡充も含む		>	O要
評価項目 (1)事業が今必要である5 背景は?(事業の必要	博物館が持ってい と鳥とのかかわり んでもらえるよう (理由) □法令等 □提供主 □その他	」という三つのな博物館を目指 な博物館を目指 NPO、市民団で市が実施する。 体が市しかない	最大限に活用 のテーマに 指す。 体等では実 ることが定め	用し、市民に情報 沿って魅力ある企	「評価 収提供する必要がある。」 と画展を実施することで、	「鳥の科学」、「1		○②事情 <想定ど □①民間 □②市が □③市が	前確認での想定 がもとした理解 間企業、NPO が主導でとなっ がた導役となっ 進された	どおり どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では3	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層				>	O要
評価項目 (1)事業が今必要であるも 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性にあるか?	博物館が持ってい と鳥とのかかわり んでもらえるよう (理由) □法令等 □提供主 □その他	」という三つのな博物館を目指 NPO、市民団はで市が実施する。 は体が市しかない。 る市が推進すべき。 で進めること	最大限に活用のテーマに光 指す。 日体等では実め ることが定め い い である とにより実効	用し、市民に情報沿って魅力ある分 沿って魅力ある分 できない められている 効性が得られる	評価 概提供する必要がある。 企画展を実施することで、 <その他の内容>	「鳥の科学」、「1		○②事前 <想定ど □①民間 □②市が □③市が □④市が □⑤サー	前確認での想定 ごおりとした理理 同企業。で進となった。 でき導化との支援スペートである。 できるなった。 できるない。 できるな。 できるな。 とっと。 できる。 できる。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 できる。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	どおりとおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではいれば実効性がない たことで市民へ善が 施策の目標の実現	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した				>	O要
評価項目 (1)事業が今必要であるE 背景は?(事業の必要 と 要 性 (2)市が実施する必要性に	博物館が持ってい と鳥とのかかわり んでもらえるよう (理由) □法保共主 □ その他 (理由) □ は 保 共主 □ と 自治体であ。 (理由) □ 市が ま	」という三つの な博物館を目指 NPの市が実施ない で体が市しかを は進進をするよる る市が推進のするよる る市が推進のであるよる に提供証された。 に提供証された。	最大限に活用のテーマに浴指す。 旧体等では定め はことが定め さことのある実え とによより、	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	評価 概提供する必要がある。 企画展を実施することで、 <その他の内容>	「鳥の科学」、「1		○②事前 <想定ど □①民間 □②市が ・促市が □③サー □⑤サー □⑥サー	前確認での想定 ごおりとした理理 同企業。で進となった。 でき導化との支援スペートである。 できるなった。 できるない。 できるな。 できるな。 とっと。 できる。 できる。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 できる。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	どおり どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では3 ければ実効性がなけたことで市民へ善が 施策の目標の実現/ 保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した				>	O要 O不要
評価項目 (1)事業が今必要であるも 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性にあるか?	世由・ は	」という三つの目指 いです物館を目指 NPO、市成日の大変には、 で市が市しかない。 で市が推進の供するには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	最大限に活用のテーマに浴指す。 旧体等では定め はことが定め さことのある実え とによより、	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	評価 概提供する必要がある。 企画展を実施することで、 <その他の内容>	「鳥の科学」、「1		○②事前 <想定ど □①民間 □②市が ・促市が □③サー □⑤サー □⑥サー	前確認での想定 ごおりとした理理 間企業。で進めなった。 でもでいるできるできる。 でもなっているできる。 ではこれたのでは、 ではこれたのでは、 ではこれたのでは、 ではこれたのでは、 ではこれたのでは、 ではこれたのでは、 のも、 では、 のも、 では、 のも、 では、 では、 のも、 では、 のも、 では、 のも、 では、 のも、 のも、 のも、 のも、 のも、 のも、 のも、 のも	どおり どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では3 ければ実効性がなけたことで市民へ善が 施策の目標の実現/ 保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した				>	O要 O不要
評価項目 (1)事業が今必要であるも 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性にあるか?	博物館が持ってい と鳥とのかかわり と鳥とのかかわり んでもらえるよう (理由) □法会等 □提供主 □ その他 ●②自治体である (理由) □市が主 ■市が主	」という三つの目指 いです物館を目指 NPO、市成日の大変には、 で市が市しかない。 で市が推進の供するには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	最大限に活用のテーマに注 かテーマに注 指す。 はなことが定めなことがまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまります。 とことにより政策・前	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	「評価 概提供する必要がある。 を画展を実施することで、 <その他の内容> <その他の内容>	「鳥の科学」、「1	とせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認での想定 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本	どおりでなかった 自/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性へなだったことで市民の実現! 係策の目標の実現! 保きれた 係基盤が確保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した		iの具体的な内容・			O要 O不要
評価項目 (1)事業が今必要であるも 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性(あるか? (市実施の必要性)	世由・ (理由・ (理由) □ (注) (理由) □ (注) (理由) □ (注) (理) □ (注) (理) □ (注) (理) □ (注) (理) □ 市がに支 実現からに支 実現がまかる。 「中市・現かる。」 「中市・現かる。」 「中・でも、ままま」 「中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	」とは物館を目標をしています。 NPOが前をしています。 NPOがでは、 NPOがで	最大限に活形のではに、 をというでは、ままして、 をというでは、は、ないでは、は、は、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	(評価 個級提供する必要がある。) を画展を実施することで、	鳥の科学」、「」 展示に変化を持力 大の具体的な内容 共催の企画展の実	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認での想定 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本	どおり どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなか たことで市民へ 施策の目標の実現に 保された 終基盤が確保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施	の具体的な内容・ 参加・協 切期待した以上	必要性の理由		O要 O不要
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 を要 性 (2)市が実施する必要性にあるか? (市実施の必要性)	世由・ 性) 「は物館が持っていと と鳥とのかえるよう 「理由) □ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	」と博物館をはいる。 ・ は事物には、 ・ は事物には、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ は、 ・ も、 ・ も 、 も も 、 も も も も も も も も も も も も も も	最大限に活活 最大限に活活 表の指す。 はない ではがる。 ありよ 策・がる。 をとこと 政 容 い が で が に で い で い で い で い で い で い で い で い で い で	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	「評価 級提供する必要がある。 を画展を実施することで、 <その他の内容>	鳥の科学」、「」 展示に変化を持力 大の具体的な内容 共催の企画展の実	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認での想定 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本	どおりでなかった 自/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性へなだったことで市民の実現! 係策の目標の実現! 保きれた 係基盤が確保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 〇①当者 〇②当者	3の具体的な内容・ 参加・協	必要性の理由		○要 ○不要○要 ○不要
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 を要 性 (2)市が実施する必要性にあるか? (市実施の必要性)	### ### ### ### #####################	」と博物をはいる。 ・大きないの音をはいる。 ・大きないの音をはいる。 ・大きないの音をはいる。 ・大きないのでは、大きないでは、まないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	最大限に活活 最大限に活活 表の指す。 はない ではがる。 ありよ 策・がる。 をとこと 政 容 い が で が に で い で い で い で い で い で い で い で い で い で	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	(評価 個級提供する必要がある。) を画展を実施することで、	鳥の科学」、「」 展示に変化を持力 大の具体的な内容 共催の企画展の実	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認での想定 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本	どおりでなかった 自/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性へなだったことで市民の実現! 係策の目標の実現! 保きれた 係基盤が確保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 〇①当者 〇②当者 〇③当者	の具体的な内容・ 参加・協 切期待した以上 切期待したとおり	必要性の理由	~	O要 O不要
評価項目 (1)事業が今必要であるも 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性にあるか? (市実施の必要性) *** おいまするができるができるができるができるができるができるができるができるができるができ	# は	」と博物をはいては、 ・ では、 ・	最大限に活活 最大限に活活 表の指す。 はない ではがる。 ありよ 策・がる。 をとこと 政 容 い が で が に で い で い で い で い で い で い で い で い で い で	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	(評価 個級提供する必要がある。) を画展を実施することで、	鳥の科学」、「」 展示に変化を持力 大の具体的な内容 共催の企画展の実	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認での想定 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本	どおりでなかった 自/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性へなだったことで市民の実現! 係策の目標の実現! 保きれた 係基盤が確保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 〇①当者 〇②当者 〇③当者	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理由	~	● ○要 ○不要 ○ ○要 ○ ○不要
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 を要 性 (2)市が実施する必要性にあるか? (市実施の必要性)	世由・ 性) 「は物館が持っていと と鳴とのかえるよう 「理由) □ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	」と博物をはいては、 ・ では、 ・	最大限に活活 最大限に活活 表の指す。 はない ではがる。 ありよ 策・がる。 をとこと 政 容 い が で が に で い で い で い で い で い で い で い で い で い で	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	(評価 個級提供する必要がある。) を画展を実施することで、	鳥の科学」、「」 展示に変化を持力 大の具体的な内容 共催の企画展の実	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認での想定 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本では、 「日本	どおりでなかった 自/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性へなだったことで市民の実現! 係策の目標の実現! 保きれた 係基盤が確保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 〇①当者 〇②当者 〇③当者	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	必要性の理由	~	● ○要 ○不要 ○ ○要 ○ ○不要
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 を要 性 (2)市が実施する必要性にあるか? (市実施の必要性)	博物館が持っていり	」と博物の記述は、	最大限に活用が 最大限に活用が 最かす。 ではない ではにに 政 容 がよよ 策 の内 りり いる	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	(評価 個級提供する必要がある。) を画展を実施することで、	鳥の科学」、「」 展示に変化を持力 大の具体的な内容 共催の企画展の実	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認 とした と	どおりでなかった 自/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性へなだったことで市民の実現! 係策の目標の実現! 保きれた 係基盤が確保された	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 〇①当者 〇②当者 〇③当者	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理	必要性の理由	~	● ○要 ○不要 ○ ○要 ○ ○不要
評価項目 (1)事業が今必要である話背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性にあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協 す夫しているか? (体制づくり)	理由・化・を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	」とは物を Pで体と Nで体と Nで体と Nで体と Nで体と Nで体と Nで体と Nで体と Nで体と Nで体と る導施・が進提保証と をかき参しま をかき参と実施 にここになる がで事業を 配慮のの のののののである。 ののののである。 では、 のののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 ののである。 にこここになる。 ののである。 にこここになる。 ののである。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいる。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいる。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいる。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいる。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるのでな。 にいるで、 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。	最大限に活用が 最大限に活用が 最かす。 ではない ではにに 政 容 がよよ 策 の内 りり いる	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	(評価 個級提供する必要がある。) を画展を実施することで、	・ 展示に変化を持か 展示に変化を持か 大の具体的な内容 共催の企画展の実施 や展示交流を実施	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認 とした と	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性がへなけたことで市民の事標の実現に 能策の目標の実現に 係された 終基盤が確保された 動の具体的な内容 えられる場合にはそ	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 〇①当者 ○②当者 ○3当者	参加・協 参加・協 初期待した以上 の期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理	必要性の理由 働の程度・内容 理由/期待以下	~	● ○要 ○不要 ○ ○要 ○ ○不要
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進	理由・化・を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	」 と博物 Pで体 Pで体 A 導施ス援図 Pで体 A では、 A で	最大限に活活に 最大限に活に 最大限にマーマース ではない 等とでは、 でよに、 の内の がは、 なりよ、策 の内の がいる なり、が の内の がいる ない、 の内の のりの のりの のりの のりの のりの のりの のりの	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 に施できない められている 効性が得られる 、良質で安定した	(評価 個級提供する必要がある。) を画展を実施することで、	・ 展示に変化を持か 展示に変化を持か 大の具体的な内容 共催の企画展の実施 や展示交流を実施	たせて何度も足を運	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認 とした と	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性がへなけたことで市民の事標の実現に 能策の目標の実現に 係された 終基盤が確保された 動の具体的な内容 えられる場合にはそ	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 ○①当者 ○②当者 <期待し ○①想欠 ○②割替	を加・協 の関係的な内容・ 参加・協 の期待した以とおり 別期待したとおり 別の期待したとおり 別の期待とした。 た以上となった理 環境	必要性の理由 働の程度・内容 型由/期待以下	~	● ○要 ○不要 ○ ○要 ○ ○不要
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協 エ夫しているか? (体制づくり)	世由・ 性的・ は	」 と博物 Pで体 A 環施ス援図 Pで体 A 環施ス援図 Pで体 A 環施がよい A 環施がよい A 環施がよい を参参をと実施 を を を B 面画画運施 してて献 していい の は の の の の の の の の の の の の の	最大限に活活 最大限に活活 最か皆 特こと ではに 政 容 でよにと 政 容 がよ 策 ・ が をとこと り 内 りり ている	用し、市民に情報 沿って魅力あるd	「評価 級提供する必要がある。 を直展を実施することで、 <その他の内容> <その他の内容> ことで、 「記録」を表現して、 「記述」を表現して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を表記して、 「記述」を、 「記述	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施、市民スタッフにする。	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認 とした と	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではなければ実効性がへなけたことで市民の事標の実現に 能策の目標の実現に 係された 終基盤が確保された 動の具体的な内容 えられる場合にはそ	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施 ○①当者 ○②当者 <期待し ○①想欠 ○②割替	参加・協 初期待したとおり 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内容 型由/期待以下	~	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進	理由・	」とは物 Pで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 R	最大原に活え 最大テー・	用し、市民に情報 沿って魅力あるd	評価	鳥の科学」、「J 展示に変化を持力 大の具体的な内容 共催の企画展の実施 や展示交流を実施 取組む内容	施、市民スタッフにする。	○②事事 <想定ど □①民間 □②市市が □②市市の □③・ロッチャー □のサー ○マの他	前確認 とした	どおりでなかった由/想定どおりでなかった由/想定どおりでなかった由/想定どおりでな、市民団体等ではない。中間は一般ではないできません。 中間は一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	かった原因〉 実施できなかっ かった 層 こ貢献した (又は今後、 (の内容)	た <市実施	参加・協 初期待したとおり 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内容 型由/期待以下	~	○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) 環境への配慮 環境への配慮	世由・ 性的・ は	」 と博物 Pで体 A 環施ス援図 Pで体 A 環施ス援図 Pで体 A 環施がよい A 環施がよい A 環施がよい を参参をと実施 を を を B 面画画運施 してて献 していい の は の の の の の の の の の の の の の	最大限に活活に 最大限に活活に 最大では まかます。 でがが まりよ 策 でよに 政 容 ではと 政 容 ではしま 策・・ が なりよ 策・・ が なりよ 策・・ が なりよ 策・・ が なりよ 策・・ が	用し、市民に情報 沿って魅力ある企 一部できないる 対性が得らな定した。 施策の目標の の関心を深めても	は	鳥の科学」、「J 展示に変化を持対 大の具体的な内容 共体の企画を実施 や展示交流を実施 取組む内容	施、市民スタッフにする。	○②事	前確認 と した	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等ではなけた 市にば実の市民の実現に を変われた を変われ	かった原因> 実施できなかっ かった 及が一層 こ貢献した	た <市実施	参加・協 初期待したとおり 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内容 型由/期待以下	~	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ 不要
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進	理由・	」とは物 Pで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 Rで体 R	最大限に活活に 最大限にマート では ない では で か で よ に と で よ に い 政 容 で が こ き に と い ひ 容 い が る 鳥 へ の りりり し し 点	用し、市民に情報 「おおおない」 「おおいる」 「おいって「おいる」 「おいって「おいっな」 「おいって「おいっな」 「ないっな」 「ないっな」 「ないっな」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」	「評価 級提供する必要がある。」と画展を実施することで、 <その他の内容> <その他の内容> <その他の内容> 自標値の妥当性のよる企画展の展示案内 をうまました値ではないが小さい値ではない	鳥の科学」、「「」 展示に変化を持った。 大の具体的な内容 共催の企画を実施する。 のチェック ている	施、市民スタッフにする。	○②事	前確認 とした	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等ではなけた 市民団体等ではなけた を策された をでする。 を発表盤が確保された を保着基盤が確保された 動の具体的な内容 した具体的な内容	かった原因> 実施できなかっ かった かった できなかっ かった 層 に で (又は今後、 での内容)	た <市実施 ○① 当者 ○② 当者 ○② 当者 ○② ままる ○③ ままる ○④ ままる ○⑥	参加・協 初期待したとおり 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった理 定どおりでなかっ	必要性の理由 働の程度・内容 理由/期待以下 養への配慮 た	~	○ 要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) 環境への配慮 環境への配慮	世由・ は	」 とは物	最大限に活活に 最大限に活活に 最大では またこと の 内 の でがが	用し、市民に情報 「おおおない」 「おおいる」 「おいって「おいる」 「おいって「おいっな」 「おいって「おいっな」 「ないっな」 「ないっな」 「ないっな」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」 「ないった」	は 無 価 保提供する必要がある。 を	鳥の科学」、「J 展示に変化を持対 大の具体的な内容 大の催の不交流を実施 や展示交流を実施 取組む内容	施、市民スタッフにする。	○②事	前確認 と した での と で で で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等ではなけたこのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	かった原因> 実施できなかっ かった を なかっ ない できなかっ の ない の できなが の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	た < 市実施	参加・協 初期特待したとおり初初期特待はたとおり かい以上となった理 定どおりでなかった原 成となった原因>	必要性の理由 働の程度・内容 理由/期待以下 養への配慮 た	であった原因>	○
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) 環境への配慮 環境への配慮	世由・	」と博物の指 と博物の指 と「中で体! る導施ス援図。	最大限に活活に 最か指す 等と ではに 政 容 ではに 政 容 でよに 政 な 容 (人) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	用し、市民に情報金の は できない あいま できない あいま できない あいま できない かい できない の関心 でき 現別 沢辺 はい の とと とい を 対 で は できない でき は でき は できない できない できない は できない できない できない できない は にん は に	(評価	鳥の科学」、「J 鳥の科学」、「J 展示に変化を持か な内容を 大の異体的のなの実施 なのと変流を実施する。 のチェック でいい 別における目標値 対策 「I 等民間	施、市民スタッフにする。	〇②事 を	前確認 とした で	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等ではない 、 市民団体等ではない 、 市民団体等ではない 、 市民は大きででない に保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かった原因> 実施できなかっっ まかみが 貢献 した できないかって 耐 した でで 層 した でで 層 した でで 層 に で 後、 での内容) ので 1 世標 標値 値 末	た <市実施 ○ ① ① 当当当	参加・協 初期待した以上とおり初初期待したと下 でをどおりでなかった頃 なとなった原因> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	必要性の理由 働の程度・内容 高への配慮 た スター できる はまま できる たま スター できる かまま かい できる はい かい できる かい できる かい かい できる かい	であった原因>	○
評価項目 (1)事業が今必要であるま背景は?(事業の必要 作性 (2)市が実施する必要性にあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (本制づくり) 環境への配慮 (1)目標設定は適切か?	田由・	」と博物 P で体! る 導施 ス 提図 P で体! る 導施 ス 提図 P で 体! る 導施 ス 提図 P で 体! る 導施 ス 提図	最大限に活に浴 最大限に活に浴 最大では は定め 等としていがでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まりよいでは ではまたいでは まとしていかでは まりまいでは まとしていかでは まりまいでは まとしていかでは まりまいでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まとしていかでは まるしていがでは まるし	用し、市民に情報 用沿って魅力ある介 一部でれている 対してもない。 対してもない。 対してもない。 対してもない。 対してもない。 が得でで標ののでは、一では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	(評価	鳥の科学」、「J 展示に変化を持か は大の具体的な内容 共体の企画で表 が表 のチェック でいる のにおける目標値	施、市民スタッフにする。	〇②事 を	前確認 とした で	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではない 、市民団体等ではない 、けたに策でする。 を接き整めては、 を発表を 動の具体的な内容 した具体的な内容 した具体的な内容 した具体的な内容 したりには、 を表示を は、 を表示を を表示を は、 を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表示を を表	かった原因> 実施できなかっ かった層 たった。 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できなががっ できながががっ できなががっ できなががっ できなががっ できなががっ できなががっ できなががっ できながががっ でがががっ できなががっ できなががっ でがががっ でがががががががががっ でがががががががががががががが	た <市実施 ○ ① ① 当当当	参加・協 初期特にしたとおり 初期特待したとおり が以上となった理 をとどおりでなかった。 なとなった原因> 事のの想	必要性の理由 働の程度 内容 自由 / 期待以下 意介の配慮 た で 「因 > 養の の配慮 た で で な だ おりりで な た で な だ おりりで な た か で な だ か で な た で の で な た で の で な た か で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な か で な た で の で な か で か で	容 であった原因> こついて かった	○
評価項目 (1)事業が今必要であるま背景は?(事業の必要をおうまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	田由・	」と博物の指 と博物の指 と「中で体! る導施ス援図。	最大限に活活に 最大限に活活に 最大限にでは またこと の の り い が で よ に と で よ に と で よ に ま 策 ・ が 容 で よ に い 政 容 い い る 。	用し、市民に情報金の に	(評価	鳥の科学」、「持 鳥の科学」、「持 原示に変化を持対 を内容を 大の具体的な展を 大の個の示交流を実施する。 のチェック にいいのはおける は、アントでは、 のでは、	施、市民スタッフにする。	〇②事 を	前確認とした。 (でなりとしたとうない。) (では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等ではない 、 市民団体等ではない 、 市民団体等ではない 、 市民は大きででない に保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かった原因> 実施できなかっっ まかみが 貢献 した できないかって 耐 した でで 層 した でで 層 した でで 層 に で 後、 での内容) ので 1 世標 標値 値 末	た <市実施 ○ ① ① 当当当	参加・協 初期待した以上とおり初初期待したと下 でをどおりでなかった頃 なとなった原因> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	必要性の理由 働の程度 内容 自由 / 期待以下 意介の配慮 た で 「因 > 養の の配慮 た で で な だ おりりで な た で な だ おりりで な た か で な だ か で な た で の で な た で の で な た か で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な か で な た で の で な か で か で	容 であった原因> こついて かった	○
評価項目 (1) 事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 (2) 市が実施する必要性に あるか? (市実施の必要性) 市民人のがいりり 市民人しづくりり (本制づくりり) 環境に配慮 (1) 目標設定は適切か?	世由・	」なす。 Pで体! る導施ス援図! では物のでは、では、 Pで体! る導施ス援図! では、 Pで体! る導施ス援図! では、 Pで体! る導施ス援図! では、 を参参をと実施 虚いるる にいいる。 では、 では、 は、 のものでは、 をの動きと実施 虚いるる にいいる。 では、 は、 のものものでは、 では、 では、 は、 のものでは、 では、 がは、 がは、 がは、 がなられる。 のものでは、 では、 のものでは、 では、 では、 のの動きと実施 虚いるる にいいる。 では、 では、 では、 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	最大限に活活に 最大限に活活に 最大限にでは またこと の の り い が で よ に と で よ に と で よ に ま 策 ・ が 容 で よ に い 政 容 い い る 。	用し、市民に情報の に情報の に情報の が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでする。 にでれている。 の関いできない。 のでは、	(評価	鳥の科学」、「持 鳥の科学」、「持 原示に変化を持対 を内容を 大の具体的な展を 大の個の示交流を実施する。 のチェック にいいのはおける は、アントでは、 のでは、	施、市民スタッフにする。	〇② 事 で と	前確認とした。 (でなりとしたとうない。) (では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等ではない 、 市民団体等ではない 、 市民団体等ではない 、 市民は大きででない に保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かった原因> 実施できなかっっ まかみが 貢献 した できないかって 耐 した でで 層 した でで 層 した でで 層 に で 後、 での内容) ので 1 世標 標値 値 末	た <市実施 ○ ① ① 当当当	参加・協 初期特にしたとおり 初期特待したとおり が以上となった理 をとどおりでなかった。 なとなった原因> 事のの想	必要性の理由 働の程度 内容 自由 / 期待以下 意介の配慮 た で 「因 > 養の の配慮 た で で な だ おりりで な た で な だ おりりで な た か で な だ か で な た で の で な た で の で な た か で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な た で の で な か で な た で の で な か で か で	容 であった原因> こついて かった	○ 要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要であるま背景は?(事業の必要をおうまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	世由・	」とは物のでは、	最大限に活活に 最大限にマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマー	用し、市民に情報の に情報の に情報の が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでする。 にでれている。 の関いできない。 のでは、	(評価	鳥の科学」、「「別展示に変化を持った」と、「別におけるのででである。 「おいる」、「別における目標値である。「おいる」、「別における目標値である。「おります」では、「別における目標値である。「おります」では、「別における目標値である。「おります」では、「別における」では、「おります」では、「まりますます」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まりますます」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まりますます」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まりますます」では、「まります」では、「まります」では、「まりますまります。」では、「まりますます。」では、「まりますまります。」では、「まりますますます。」では、「まりますますます。」では、「まりますまります。」では、「まりますますまります。」では、「まりますますますます。」では、「まりますますますますます。」では、「まりますますますますますます。」は、「まりますますますますますますますままますますます。」は、「まりますますますますますまままままままままままままままままままままままままま	施、市民スタッフにする。	〇② 事 で と	前確認 と で	どおりでなかった A	かった原因> 実施できた をかみ できた をかみ できた にての内容) 「Qの内容) 「Qの内容) 「Qの内容) 「日日 標 達 定 事想 概 表 定 実 記 表 で ま 記 ま で ま 記 ま で ま 記 ま で ま 記 ま で ま 記 ま で ま ま で ま で	た	参加・協 初期特待したした以上 おり切りのの は、	必要性の理由 働の程度・内容 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できながっ なかっ できながら ながっ できながら ながっ できながら ながっ かんしゅう かんしゅん かんしん かんし	容 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 (2)市が実施する必要性(ある実施の必要 (市をかいののは 工人体制づくり) (本制づくの配慮 (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か? (2)事業るか? (3)目標値を実現する為に (3)目標値値を実現する為に	# 由 ・	」なす。 Pで体! る導施ス援図! では物のでは、では、 Pで体! る導施ス援図! では、 Pで体! る導施ス援図! では、 Pで体! る導施ス援図! では、 を参参をと実施 虚いるる にいいる。 では、 では、 は、 のものでは、 をの動きと実施 虚いるる にいいる。 では、 は、 のものものでは、 では、 では、 は、 のものでは、 では、 がは、 がは、 がは、 がなられる。 のものでは、 では、 のものでは、 では、 では、 のの動きと実施 虚いるる にいいる。 では、 では、 では、 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	最大限に活活に 最か指すす。ではない をことの 内容 でよに 政 容 でよに 政 容 (人) □ ((d) □ ((d)) □ ((d	用し、市民に情報を ・	は	鳥の科学」、「「」 鳥展示に変化を持って 具体を変化を持って の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 の	施、市民スタッフにする。 (と現況値の差)と資本の活用	○② 東 と	前確認 と 、 で で の に た い で の に た い が 作 と 、 で で の と に で 役 た か 水 ず の の の の の の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、	かった原因> Example Paragraph Paragrap	た C T T T T T T T T T	参加・協 初期特にしたとおり 初期特待したとおり が以上となった理 をとどおりでなかった。 なとなった原因> 事のの想	必要性の理由 働の程度・内容 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できながっ なかっ できながら ながっ できながら ながっ できながら ながっ かんしゅう かんしゅん かんしん かんし	容 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要であるま背景は?(事業の必要をあるままままは?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はある方実施の必要性) 市民人の参加いるか? (体制づくり) 環境への配慮 (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	# 由 ・	」と博物の指数では、	最大限に活活に 最か指すす。ではない をことの 内容 でよに 政 容 でよに 政 容 (人) □ ((d) □ ((d) ((e) ((d) ((d) ((用し、市民に情報を ・	(評価	鳥の科学」、「「」 鳥展示に変化を持って 具体を変化を持って の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 の	施、市民スタッフにする。 (と現況値の差)と資本の活用	○② 東 と	前確認 と に	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、	かった原因〉 実施できなかっ をかみが一般にたった。 「文の内容をは、	た C T T T T T T T T T	参加・協 初期特待したした以上 おり切りのの は、	必要性の理由 働の程度・内容 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できながっ なかっ できながら ながっ できながら ながっ できながら ながっ かんしゅう かんしゅん かんしん かんし	容 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1) 事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 (2) 市が実施する必要性に ある実施の必要性) 市民人の参加や市かの(体制づくり) 市民人しづくり) (4体制づくり) (1) 目標設定は適切か? (2) 事業を進いるか? (1) 目標設定は適切か? (2) 事業ののエ夫を追りる為に 投じる事業者は適の (3) 目標値を事業者は適の (3) 目標値を事業者は適	理由・	」と博物の指数では、	最大限に活活に 最大限に活活に 最大限にでは またに なりよ 等と でがが を まとに なりよ までよと のでがいる をとにと のでがいる をとにと のでがいる をとにと のでがいる をとにと のでがいる をといる なりよ なりま は定め のでがいる のでがい のでがい のでがい のでがい のでがい のでがいる のでがい のでが のでがい のでがい のでがい のでがい のでがい のでが のでがい のでがい のでが のでがい のでがい のでが のでがい の	用し、市民に情報の 開入の下民に情報の 対し、大きない。 対し、大きない。 対し、大きない。 が関いである。 が関いである。 が関いである。 が関いである。 が関いである。 が関いである。 がといいである。 がといいである。 でといいである。 でといいである。 でといいである。 でといいである。 でといいである。 でといいである。 でといいである。 でといいである。 では、これでは、これである。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	は	鳥の科学」、「「」 鳥展示に変化を持って 具体を変化を持って の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 の	施、市民スタッフにする。 (と現況値の差)と資本の活用	○② 東 と	前確認 と 、 で で の に た い で の に た い が 作 と 、 で で の と に で 役 た か 水 ず の の の の の の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、	かった原因> Example Paragraph Paragrap	た C T T T T T T T T T	参加・協 初期特待したした以上 おり切りのの は、	必要性の理由 働の程度・内容 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できながっ なかっ できながら ながっ できながら ながっ できながら ながっ かんしゅう かんしゅん かんしん かんし	容 であった原因> こついて いった た原因>	○
評価項目 (1)事業が今必要であるまず景は?(事業の必要を持分の事業の必要を持分の事業の必要を持分の事業の必要を持分の事業を対して、(本制のの記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念	田由・	」 とは物 P P 市が市 が進場である。	最大限に活活が 最大限にはマーマース	用し、市民に情報の 開設の できない。 対し、 を でれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 の関連できない。 のできるが、 のできなが、 のでをなが、 のできなが、 のできなが、 のでをなが、 のでをなが、 のでをなが、 のでをなが、 のでをなが、 ので	(評) 価級提供する必要がある。 「報提供する必要がある。で、 「報提供する必要がある。で、 「表記を主義を主義を表現を表現である。」 「表記を表現である。で、 「本記を表現である。で、 「本記を表現で、 「本記を表現である。で、 「本記を表現である。」 「本記を表現できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	鳥の科学」、「「」 鳥展示に変化を持って 具体を変化を持って の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 の他の示文を は、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 の	施、市民スタッフに する。 (と現況値の差)と 資本の活用	○② 東 と	前確認 と 、 で で の に た い で の に た い が 作 と 、 で で の と に で 役 た か 水 ず の の の の の の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、	かった原因> Example Parameter Paramete	た C T T T T T T T T T	参加・協 初期特待したとなった理 環境を定 がありでなかった原 を定 がおりでなかった原 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	必要性の理由 働の程度・内容 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できながっ なかっ できながら ながっ できながら ながっ できながら ながっ かんしゅう かんしゅん かんしん かんし	容 であった原因> こついて いった た原因>	○
評価項目 (1)事業が今必要であるまず景は?(事業の必要を持分の事業の必要を持分の事業の必要を持分の事業の必要を持分の事業を対して、(本制のの記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念の記念	田由・	」 とは物 P P 市が市 が進場である。	最大限に活活に 最大限に活活に 最大限にです。 ではにない ありより 等としている。 をことりのでいる。 をことののではでかった。 ではにいる。 をとことののではでかった。 ではにいる。 をとことののではでかった。 では、ままでは、では、ままでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	用し、市民に情報の 開設の できない。 対し、 を でれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 が良いでれている。 の関連できない。 のできるが、 のできなが、 のでをなが、 のできなが、 のできなが、 のでをなが、 のでをなが、 のでをなが、 のでをなが、 のでをなが、 ので	(評) 価級提供する必要がある。 「報提供する必要がある。で、 「報提供する施すを施することで、 「表記を主義を主義を表現である。」 「表記を表現である。」 「表記を表現である。 「本記を表現である。」 「表記を表現である。 「表記を表現である。」 「表記を表現である。 「表記を表現である。」 「表記を表現である。 「表記を表現である。」 「表記を表現で表現である。」 「表記を表現である。」 「表記を表現できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	鳥原の科学」、「持っから、「持っから」、「持っからに、	施、市民スタッフに する。 (と現況値の差)と 資本の活用	○② 東 と	前確認 と 、 で で の に た い で の に た い が 作 と 、 で で の と に で 役 た か 水 ず の の の の の の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、	かった原因> Example Parameter Paramete	た C T T T T T T T T T	参加・協 初期特待したとなった理 環境を定 がありでなかった原 を定 がおりでなかった原 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	必要性の理由 働の程度・内容 できなかっ できなかっ できなかっ できなかっ できながっ なかっ できながら ながっ できながら ながっ できながら ながっ かんしゅう かんしゅん かんしん かんし	容 であった原因> こついて いった た原因>	○